



C.P.I. The Committee for Promotion to Innovate Japanese
People by Educational and Cultural Contact, since 1979
教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9

TEL& FAX:0422-49-3808

E-mail

URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

2019年度事業報告

認定 NPO 法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会

The Committee for Promotion to Innovate Japanese people
By Educational and Cultural Contact
Authorized by Japanese Government

今回、最も長く教育里親を続けて下さっている会員さんのお一人から、スリランカで里子たちと会えたとの、嬉しいお手紙が届きました。振り返れば、2000年のはじめに、『21世紀に向けたビジョン』を発表しまして、C.P.I.の向かう道筋を示し、一緒に歩いていきましょうと、呼びかけを行いました。それから20年。教育里親さんお一人おひとりの想いをお聞きする機会も少なく、それが残念なこの頃でした。今回のお手紙には、とても励まされました。ありがとうございました。

スリランカの教育里子と会うことができました

2020年1月、私はスリランカの社会福祉関係のワークショップに参加するため、コロンボに数日間滞在することになりました。スリランカ訪問は初めてですし、せっかくの機会なので教育里子に面会できたらと思って、C.P.I.の小西会長に、Eメールで連絡しました。からはすぐお返事をいただき、現在の教育里子を含めての面会をできるように、現地の協力団体・スリランカ日本教育文化センターに依頼することでした。

私がC.P.I.の教育里親になったのは、31年前日経新聞に載ったC.P.I.の記事がきっかけでした。ちょうど娘が生まれた時だったので、女子は男子に比べ教育を受ける機会が少ないと思い、女子限定で支援をすることになりました。今まで、8人ほど、10代の女子を支援してきました。最初のころは、教育里子から英語で手紙をもらい、やりとりをしましたが、翻訳が入るようになって、最近はあまり手紙を出さなくなったことを反省しています。支援した8人はスリランカの各地に住んでおり、結婚して住所が変わったりして不明なため、実際に面会できたのは現在支援している教育里子(15歳)と最初に支援した元教育里子(45歳)の2人でした。とは、コロンボから少し離れたコッテにあるC.P.I.の日本教育センターで面会ことができました。又、元教育里子のは、次の日コロンボのホテルに会いに来てくれました。

現在の教育里子は、首都のコッテにある、スリランカ日本教育文化センターの本部まで、母親に付き添われてバスに乗って面会に来てくれました。黄色いレースのドレスに身を包み、黒い瞳が輝いている、とても可愛いティーンエイジャーでした。英語が上手に話せるので、学校の事や家族のことなどを話しました。スリランカでは高校卒業の前に進路を決める大事な試験を受けなくてはならず、その勉強が大変だと言っていました。C.P.I.からの奨学金で塾代を支払っており、感謝していると話していました。彼女は学校でも大変成績が良く、大学に進学して将来は医者か看護師になり、病院で働きたいと夢を語ってくれました。日本から持参した私の家族の写真を渡し、また手紙を書いてくれるように頼みました。

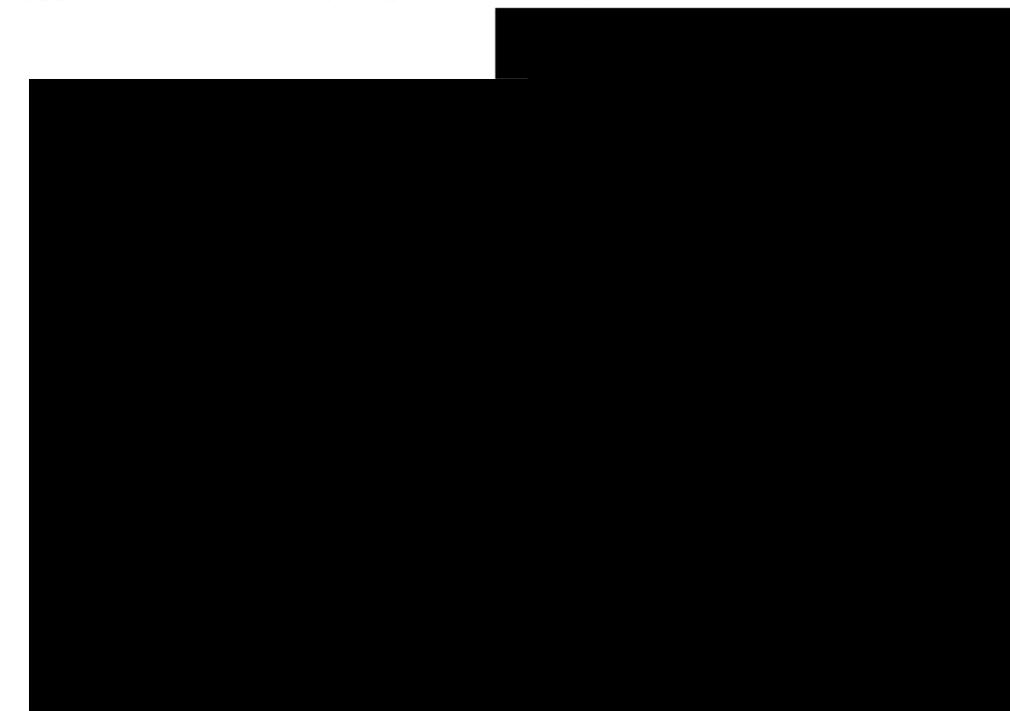
次の日、私にとって最初のC.P.I.の教育里子だったに会いました。彼女の実家に私の訪問の手紙が届き、甥に伴われ、遠路バスに乗って会いに来てくれました。私は彼女の名前は今でもよく覚えており、何度か手紙を書いたことも思い出しました。開口一番「赤ちゃんは？」と彼女が聞くので、驚きましたが、私が幼い娘の写真を送ったことを覚えていたようです。

その娘は今34歳で母親になっています、など年月の経ったことを話しました。は当時学校で大変優秀で奨学生に選ばれ、短大に進学後、仕事をし、結婚。短い間ですがクエートで働いた経験もあるそうです。今は19歳になる娘さんが一人いて、彼女は進学のための試験に再挑戦するため浪人しているそうです。

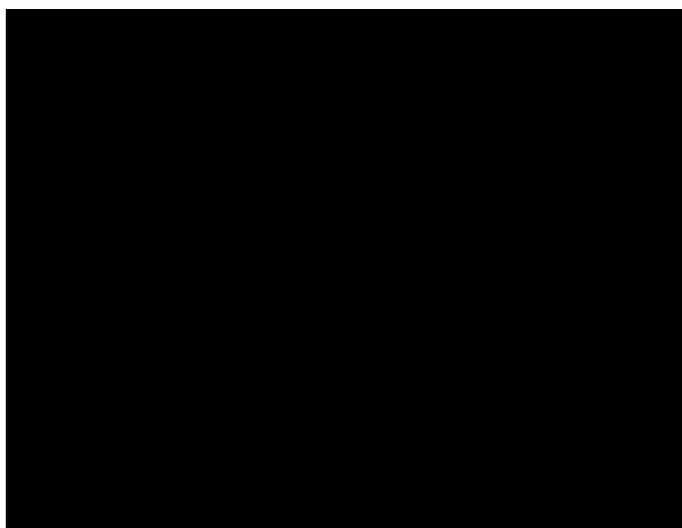
私たちは、コロンボ市内のレストランで昼食をとりながら、お互いの家庭やスリランカの子育てなどについて話し合いました。スリランカでは、女性は一度退職すると、再就職が難しいそうです。でも、娘さんが大学に進学したら、何かしたいと語っていました。11歳だった[REDACTED]がすっかり成長した大人になっているのに、思わず目を細めたものです。

今回のスリランカ訪問で、私は、継続した支援が大切だと強く思いました。30年以上も前の元教育里子に会えたのも、C.P.Iの活動がずっと続いているからだと思い、皆で応援していきたいと思いました。最後に、面会のアレンジの労を取って下さった小西会長と現地事務所のスタッフに感謝いたします。

(現教育里子の Nethmi と日本教育センターにて)



([REDACTED]と、右端は教育里子[REDACTED]の母)



(最初の元教育里子[REDACTED]と、コロンボ市内のレストランで)

1. 教育里親制度プログラムの継続推進（定款第七条1項1号）

(1) 貧困家庭にありながら学業成績優秀な学生への教育支援を行いました。

① スリランカ教育支援は、奨学生ひとり当り、現地通貨ベースで、昨年水準を維持しました。

教育支援金2019年度 スリランカ奨学生数（但し、C.P.I.教育里親で受け持つ奨学生に限る）

学年	9年生	10年生	11年生	12年生	13年生	AL試験再受験者	合計
人数	24名	54名	135名	74名	39名	75名	401名

スリランカ教育支援の2019年度計画と実績

（金額単位：千円）

	2019年度		備 考
	計画	実績	
里親数/里子数(人)	371/401	360/401	
認証式支給学用品	2820	2,680	ひとり当たり支援額を、維持する。
毎月支給奨学費	6937	6,590	補習クラス、特待生補助、通学、薬代等(同上)
年内支給奨学費	243	230	通学靴、制服仕立費、写真代等(同上)
(小計①)	(10,000)	(9,500)	
卒業生活動補助	300	0	支援できる卒業生活動を推進できなかった
調査・報告作業費	0	0	日本側は報告・広告費に計上した
(小計②)	(0)	(0)	
合計	10,300	9,500	教育里親当り、29,700 円の支援となった。

2007年から奨学修了者会を組織して以来、彼らの働きで、「スリランカ人教育里親による支援」を広げ、現在数百名の奨学生をその方々が支援しています。

今後とも、彼らとの連携活動を、続けていく考えです。

一方、2018年から、内戦終了後に難民キャンプから退去させられ故郷に戻れない子どもたちが困窮しているので、支援する必要があると分かりました。

元はと言えば、2009年に、国連の UNHCR(国連高等難民弁務官事務所)が、テロ組織 LTTE 掃射作戦の最終段階にスリランカ政府とともに、北東部の住民を一時的に難民キャンプに移し、内戦終了後すぐに追い出したことに、現在の状況の原因があります。その人々は、わずかな政府補助で生きています。

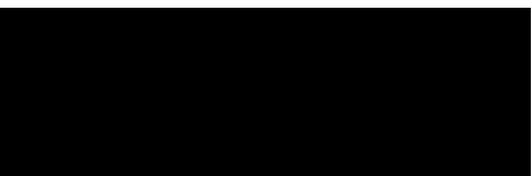
彼らの故郷に埋まっていた地雷も撤去されています。ですから農業をしていた人々は、故郷の土地で農業をできるはずですが、

しかし、実際には土地が奪われてしまっていて、権利の取り戻しに苦慮しています。漁業従事者、職人(大工・左官・家具等)も、いつの間にか職を奪われ、元の職に復帰できないでいます。

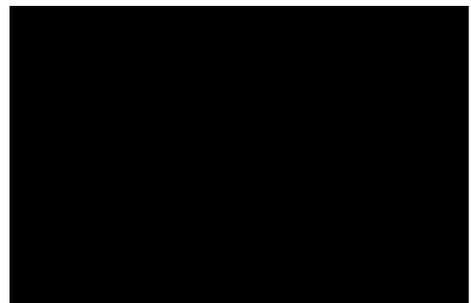
C.P.I.としては、せめて、彼らの子どもたちを励まし能力を高め、

家族が自立できる手助けをしたいと考え、2017年から頑張っています。

資金支援のクラウドファンディングにご協力下さい。⇒<http://www.cpi-mate.gr.jp>



2007年の奨学修了者代表者会議の記念写真



② インドネシア教育支援は、奨学生ひとり当り、現地通貨ベースで昨年水準を維持しました。

教育支援金2019年度 インドネシア奨学生数（但し、C.P.I.教育里親で受け持つ奨学生に限る）

学年	高校1年生	高校2年生	高校3年生	大学生	合計
人数	23名	25名	37名	53	138名

インドネシア教育支援の2019年度計画と実績

（金額単位：千円）

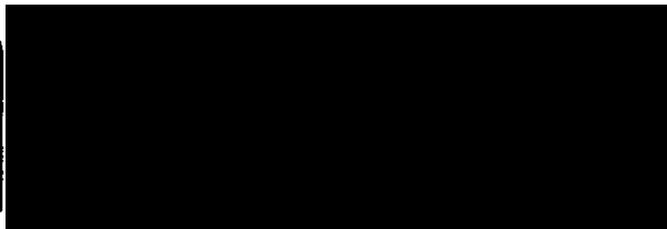
	2019年度 計画	2019年度 実績	備 考
里親数/里子数(人)	124/127	119/138	
高校生学費	1511	1,274	中学生支援は、政府が「完全義務教育制」に踏み切ったことを機会に、奨学制度から一度外すことにした。
中高生試験費	上記に含む	上記に含む	
大学生学費	485	887	大学2年生まで学費支援を行っている。
教育里子会の活動	536	1,339	教育里子の集会・彼らの社会活動などを支援。
調査・日常把握等	804		地域リーダー・アシスタントの交通費・電話・郵送・その他の経費。
電話・郵便・交通費等			
合 計	3,336	3,500	教育里親当り、32,000円を超える支援となった。

地域/学年	高校1年	高校2年	高校3年	大学1-2年	巡回費	調査費	奨学生会
年間支援/人	1,440,000	1,440,000	1,840,000	1,800,000	7,200,000	3,600,000	7,200,000
BOGOR	3名	3名	0名	17名	一式	一式	一式
JEMBER	3名	3名	5名	5名	一式	一式	一式
CIANJUR	5名	7名	10名	薬剤師就職	一式	一式	一式
JAKARTA	3名	3名	6名	1名	一式	一式	一式
BUMIAYU	3名	3名	6名	4名	一式	一式	一式
SEMARANG	0名	0名	0名	15名	一式	一式	一式
MALANG	3名	3名	5名	5名	一式	一式	一式
奨学生合計	23名	25名	37名	53名	奨学生の数に拘わらず		
支援合計	33,120,000	36,000,000	68,080,000	95,400,000	57,600,000	28,800,000	57,600,000
	Rupiah						

インドネシアへの、日本と連携する教育支援は、農・山・漁村地域の実務高校生対象に、シフトしました。時代の変遷により、そのほうが、教育支援効果をあげることができるかと確信しています。



2013年に竣工させた南スラウェシ州バンカプ県 漁業改革を中学段階から教育するコミュニティカレッジを軸に、まったく新しい教育を導入しています。



チアンジュール市 薬剤師養成高校の在校生124名中、22名が教育里子です

スマラン市 山村農業改革の研修会。スマラン山村部に15名の教育里子がいます

教育支援は、変化していく。喜び合えるかぎり、続けたい

インドネシアでは、2017年度から中学生支援を終了しました。インドネシア政府が、公立中学生の経済的負担を無くすため、義務教育化を完遂する方針を発表し、各地で続々と実現されてきた故です。

C.P.I.は、1989年に奨学プログラムを発足以来、次の家庭に、中学3年生からの奨学を行ってきました。

- ① 中学校3年生以降になると増大する教育費を、継続的に負担することが、難しい家庭。
- ② 中学3年生・高校3年生の修了資格に必要な、卒業試験の費用が高額で、負担に耐えられない家庭。

そういう家庭で、優秀な成績をあげてきた学生が、勉強を諦める現実があることは、非常に残念と考えました。そのような人材こそ救うべきだと、インドネシア政府に訴え続けて30年の歴史があります。遂に、普通課程で学ぶ中学生に関しては、支援活動に『出口』が見えたと思います。実に長い年月でした。

しかし、実際には、農村・山村・漁村の中学生たちは、通常の勉強科目に加えて、地域経済を支える実務的な学びの場を用意しないと、なんのために学校を卒業したのか、成果を生かせないことが多いのです。ですから、コミュニティカレッジ型の学校運営を推進するように、モデルケースをつくり、継続させ、広めていく必要がありました。P8の3. に述べるような、自立を支援するプロジェクトは、そのためのものです。

(2) 教育里親に対する里子の状況報告を行いました。

- ① スリランカの現地報告ステューティ誌を12月に発行。
- ② インドネシアの現地報告クルアルガ誌を12月に発行。
- ③ スリランカ教育里子への支援を行う正会員に、年末の時点での試験結果等状況報告。
- ④ インドネシア教育里子への支援を行う正会員に、年末の状況報告。

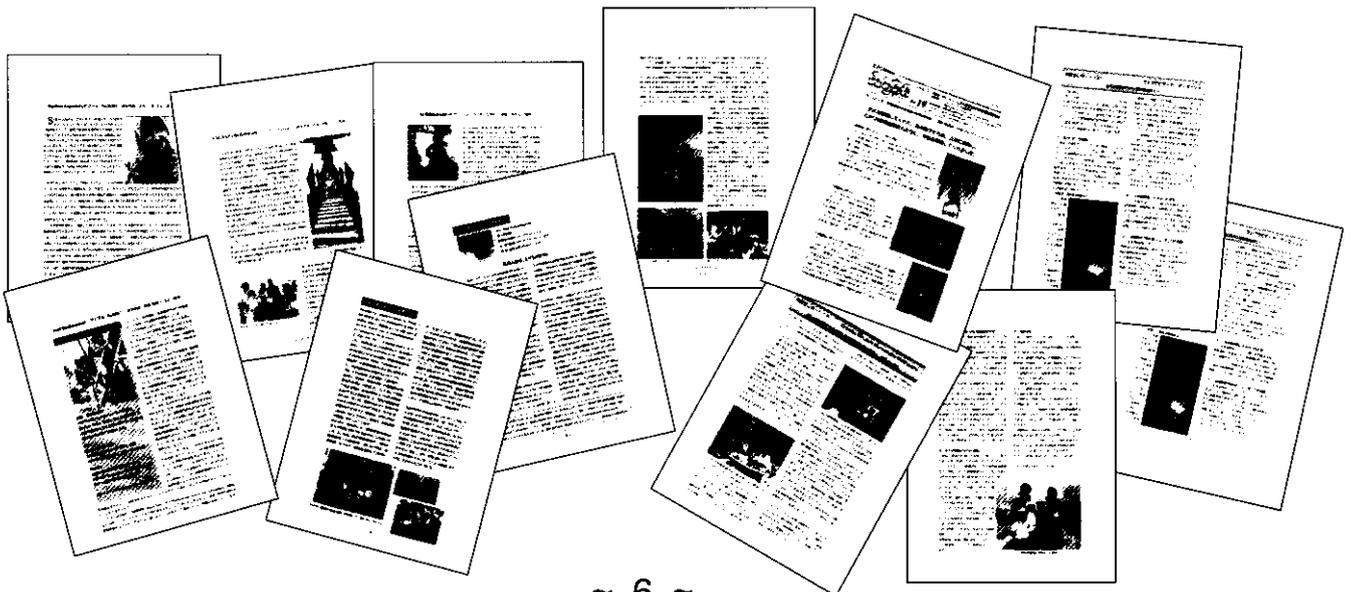
奨学修了者から里親への手記に、「ありがとう」の声が寄せられています

上記の現地会報で、スリランカおよびインドネシアの奨学修了者からの手記を、掲載しました。

「C.P.I.の里親さんのご支援による今の自分」を題材に、気持ちを込めてくださったと思います。

ひとりでも多くの方の目に触れて載せたい内容でした。インドネシアは、クルアルガ15号から掲載しています。大学を優秀な成績で出て、現在高い地位にいる奨学修了者でも、卒業後の紆余曲折を経て、今があることを知ることができます。

C.P.I.の教育里親さんから「卒業した後に、どのように過ごしているのか心配です」とのご質問がありましたので、現在は成功している修了者からは、手記をもらえるのではないかと考えました。それぞれの卒業生との連絡をつけるのは難しかったのですが、手記の内容について何回も詰めていき、よくわかるものになったと思います。今後とも、彼らとの連帯を以て、現地で教育支援する修了者を探していく努力を続けたいと、考えます。



2. C.P.I.の活動への、市民の参画を呼びかけてきました（定款第七条 1 項 3 号）

(1) インドネシアでのチャリティ活動に賛同して下さる市民との連携を、進めました。

<http://www.indonesia-festival.com>

2019年8月に、インドネシア中央政府・社会活動省から、特別の協働推進書を戴きました。

1988 年以來の教育里子支援活動、2018年に中央政府との協働プロジェクトとなった「被災地向け車載浄水装置の持続的運転による給水活動」への評価、チャリティ活動を盛り上げてきた『日本-インドネシア市民友好フェスティバル』を10回に渡り主宰してきたことへの評価に感謝します。

長年、日本人とインドネシア人との市民連帯を行ってきた C.P.I.会員の皆様のお陰です。

池・川・ドブから、美味しい飲料水を取り出す、『奇跡の水』プロジェクトは、2012年からバンドン工科大学およびスマラン UNDIP との共同開発の成果ですから、引き続き頑張ります。

被災地の命を守る。『コラボ・奇跡の水』を子どもたちに！



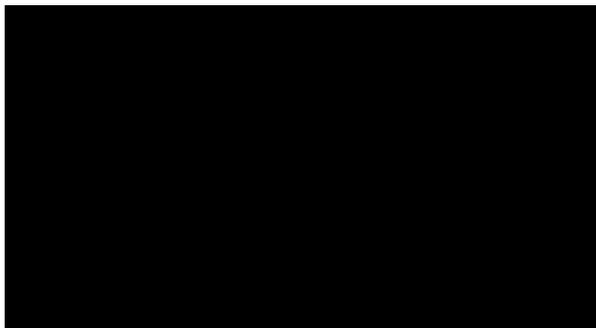
スマホで QR コードを
読み取って下さい。

昨年からはインドネシアで続々と起きる天災の被災者の飲料水を配給するために、車載浄水機を開発しました。本体に企業ロゴを印刷する『コラボ・奇跡の水』への企業 CSR を募集中です。一刻も早い救援参加を！



(2) スリランカの教育里親を増やすプロモーション活動は、引き続き準備をしています。

スリランカでは、教育里親活動を行う価値の高さを知って戴く必要があります



写真中央の方は在日スリランカ大使閣下です

左の写真は、2017年度のプロモーション活動の催事です。会場は満員でしたが、教育里親の新規募集には、もうひとつ効果があがりませんでした。

そこで、2019 年度には、在日スリランカ大使閣下にご協力戴いて、スリランカに強い関係をもっておられる方々をお招きできるチャリティ催事を行い、教育里親になって下さるよう、お願いしたいと思いましたが、準備が整いきらず、延期しました。

なお、会員の皆様に、教育里親募集のためのリーフレットを作成しました。住んでおられるところの国際交流協会・大学等のボランティア呼びかけカウンター・スリランカレストランなどに置きたいと思えます。お申出ください。E-Mail [redacted] [redacted] でお待ちします

(3) 「スリランカへの教育里親—里子交流ツアー 2019」は、遂行しませんでした。

毎年、牟田理事を団長として実施してきましたが、2019年度は、諸事情により行えませんでした。



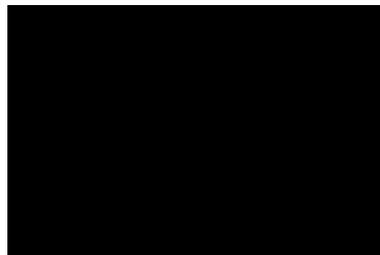
3. 教育開発により貧困な人々の自立を助ける活動を行っています（定款第七条1項2号）

インドネシアではこれまでに、

- ① 2003年に正規薬剤師資格を得られる薬剤師養成高校を西ジャワ州・チアンジュールに、
 - ② 2005～2008年に世界銀行と組み、高地農業改革組合を中部ジャワ州・スマランに、
 - ③ 2013年に資源管理漁業の大切さを教える中学校を南スラウェシ州パンカップに、
- 設立しました。C.P.I.は、コミュニティカレッジの運営に努力する人々の先頭に立っています。2019年度は、これらのコミュニティカレッジが持続するよう、現地との相談・励ましを行いました。



薬剤師養成高校では、今後、修了者研修も考えています。



農村振興講義風景。各地から学びに来ています。



持続的漁業の良さを教える中学校では、漁民の方々への教育も進めています。

平成 31 年度 (2019 年度) 決算報告書

(非営利活動に係る事業 総括表)

自 平成 31 年 (2019 年) 4 月 1 日
至 令和 2 年 (2020 年) 3 月 31 日

寄付控除認定 特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会

2019年度特定非営利活動に係る事業 総括会計収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
会費収入		
正会員入会金収入	3,000	
正会員会費収入	6,776,000	6,779,000
寄付金収入		
スリ Lanka 教育支援金収入	10,191,000	
インドネシア教育支援金収入	3,369,000	
賛助支援金収入	360,000	
一般寄付金	425,000	
国際協力応援団寄付	1,045,010	15,390,010
運用財産利息収入(国内)	36	
運用財産利息収入(インドネシア)	151,549	151,585
経常収入合計		22,320,595
II 経常支出の部		
事業管理費(別紙)	7,156,539	7,156,539
教育支援事業費		
スリ Lanka 教育里親制度プログラム	9,500,000	
インドネシア教育里親制度プログラム	3,500,652	13,000,652
特別会計支出		
インドネシア特別会計(別紙明細)	4,109,281	4,109,281
海外派遣費	1,884,506	1,884,506
国内派遣費	0	0
地域会活動費	4,588	4,588
総会関連費	297,638	297,638
報告広報費	227,408	227,408
IT広報費	214,896	214,896
経常支出合計		26,895,508
経常収支差額		-4,574,913
III その他資金収入の部		
インドネシア特別会計から繰入	6,016,338	6,016,338
IV その他資金支出の部		
一般会計への繰入れ	6,016,338	6,016,338
当期収支差額		-4,574,913
前期繰越収支差額		49,610,088
次期繰越収支差額		45,035,175

(別紙:事務管理費)

(単位:円)

専務者給与	3,600,000
職員給与	1,776,000
雑給	185,430
法定福利費	262,023
福利厚生費	7,744
旅費交通費	72,740
交際費	55,972
郵便料	60,420
国内電話料	232,686
海外電話料	1,200
会議費	12,818
消耗品費	63,776
事務用品費	0
運搬費	5,770
水道光熱費	45,584
賃借料	563,310
図書研究費	18,284
支払手数料	26,590
諸会費	53,640
リース料	12,100
雑費	21,781
保険料	72,520
修繕費	6,151
租税公課	0
事業管理費 合計	7,156,539

(収支計算書に係る特記)

※ 当期は、多くの活動がインドネシア関係に費やされていたことに鑑み、専務者給与の内200万円、海外派遣費計上の内952,252円、日本インドネシア市民友好フェスティバルへの国際協力応援団寄付剰余金176,123円、女性組合問題解決用の預け金および短期貸付金の戻し予定分(2,887,963円)、合計6,016,338円を、インドネシア特別会計から一般会計に繰り入れる。この特記は、一般会計収支計算書およびインドネシア特別会計計算書には掲載しない。

(次期繰越収支差額の内訳に係る特記)

	(総括)	(一般会計)	(インドネシア特別会計)
流動資産	59,063,175	15,777,315	43,285,860
流動負債	14,028,000	14,028,000	0
差引繰越収支差額	45,035,175	1,749,315	43,285,860

2019年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
正味財産増加の部		
資産増加額		
当期収支差額(プラス)	0	0
固定負債減少額		
増加額合計	0	0
II 正味財産減少額		
資産減少額		
当期収支差額(マイナス)	4,574,913	4,574,913
固定負債増加額	0	0
減少額合計		4,574,913
当期正味財産増減	0	-4,574,913
前期繰越正味財産額		49,735,072
当期正味財産合計額		45,160,159

2019年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括貸借対照表

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
現金預金	51,175,212	前受金	14,028,000
前渡金	5,000,000		
短期貸付金	961,382		
預け金	1,926,581		
流動資産合計	59,063,175	流動負債合計	14,028,000
(固定資産)		(固定負債)	
その他固定資産	124,984	固定負債合計	0
固定資産合計	124,984		
		負債合計	14,028,000
		III 正味財産の部	
		正味財産	45,160,159
資産合計	59,188,159	負債及び正味財産合計	59,188,159

2019年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括 財産目録

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
I 資産の部		
(流動資産)		
現金預金		
現金	121,939	
郵便振替センター	1,673,603	
みずほ銀行調布仙川店(普)	767,296	
みずほ銀行調布仙川店(寄付窓口)	32,777	
みずほ銀行調布仙川店(北野家賃)	251,870	
三菱東京UFJ銀行本店(普)	5,004,593	
三菱東京UFJ銀行本店(US\$)	5,475	
HNB Colombo(スリランカ円口座)	7,106	
BOTM Jakarta(インドネシア円口座)	24,693	
CIMB NIAGA(インドネシアRp.口座)	19,438	
BRI Jakarta(インドネシアRp.当座)	2,091,147	
BRI Jakarta(インドネシアRp.普通)	1,181,285	
インドネシアRp 現金	1,142	
インドネシア女性組合定期預金	39,992,848	51,175,212
前渡金(註1)	5,000,000	5,000,000
短期貸付金(註2)	961,382	961,382
預け金(註3)	1,926,581	1,926,581
流動資産合計		59,063,175
(固定資産)		
その他固定資産(註4)	124,984	124,984
固定資産合計		124,984
資産合計		59,188,159
II 負債の部		
(流動負債)		
前受金(註5)	14,028,000	14,028,000
流動負債合計		14,028,000
(固定負債)		
固定負債合計		0
負債合計		14,028,000
III 正味財産の部		
正味財産		45,160,159

2019年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括財産目録の注釈

インドネシア内現地通貨預金につき、現地通貨勘定と円勘定を対比して記する。

	(現地ルピア価額)	(円価額)
インドネシアRp.普通口座(CIMB NIAGA)	Rp2,326,595	¥19,438
インドネシアRp.当座口座(BRI Jakarta)	Rp227,931,445	¥2,091,147
インドネシアRp.普通預金(BRI Ambasadior Mal)	Rp125,836,776	¥1,181,285
インドネシア Rp 現金	Rp123,489	¥1,142
インドネシア Rp.定期預金(組合定期)	Rp3,355,000,000	¥39,992,848

(特記 1)

円の帳簿価額は、インドネシアRp.による現預金勘定の2020年3月31日時点の移動平均法により為替レートを算出している。組合定期を除く期末の残高合計Rp.356,218,305を、円の総額 3,293,012円で割ると、時価(1円=108, 17ルピア)である。

組合定期は、現在の時価額では 31,015,993円となり、設定時の為替レート(1円=83.89ルピア)の時の簿価額 39,992,848円と比較すると、8,976,854円と大幅な評価損にある。但し、当会は円への戻入れを行わない前提で活動を進めているため、為替の評価損益は計上しないことにしている。

(特記 2)

2018年に続き、インドネシア浄水施設プロジェクトの準備金1,392,982円はインドネシア特別会計の流動資産内に在る。

(特記 3)

昨年も特記した、組合定期に係わる処理につき、進展があるので以下に述べる。

本件は、インドネシアに於いて貧困女性の救済に当たっている、KOPRSI WANTA INDONESIA (KOPWANI)との協働活動の一環として、C.P.I.から██████に対する資金支援から発生した。2009年3月から2019年3月と期限を設定して、2019年3月の期限到来により戻し入れを約定したものである。

設定当時、██████は、██████との二人三脚で、女性向けの家屋を提供する業務を行い、同██████が、建設費の半額負担をし、さらに購入者の銀行ローンの保証を行う形で進んでいた。

さらに、██████は、広大な土地を所有しており、同██████からの依頼もあり、応じたものであった。しかし、2011年秋に、同██████が、その業務に対する支援方針を変えたため、██████が苦境に立った。

C.P.I.執行部は、2012年に、██████に対して、██████方針の変化を理由に全額戻入を申し入れたが、当時、██████にとって、それは非常に難しい状況にあった。そこで、██████からの申し入れにより、当時██████の家屋建設プロジェクトの責任者であった██████から、家屋プロジェクト収入を以て返済させる、とのことであった。そこでC.P.I.[執行部は、その作業を開始し、2014年3月までその作業を行っていたが、██████の変節により、それが叶わず、以降、2016年に本件代理人を指定しての回収努力を続けてきた。

2020年3月の時点で、██████から、返済に係るスケジュールを示す文書が提出された。

██████は、当法人が██████から預かり保管しているふたつの土地の価値が、返済価値に及ばないことを認識し、かつ、██████が共同開発可能な土地を原資とした返済を行うべく、三者交渉を設ける件を確約した。その会合を行う段取りをつけたところで、コロナウイルス禍が起こり、現在、会合期日等を延期している。

(資産の部の註記事項)

註 1: 2019年度のスリランカ教育里親制度プログラムに係わる、2018年内のSNECCへの前渡分

註 2: 三鷹市北野の本部作業所の敷金およびインドネシア現地補佐へのコロナウイルス禍対策等貸付

註 3: 女性組合問題の解決に備えて、法定代理人に渡す金額Rp.200,000,000(1,926,581円)をNOTAROISに預けている。NOTARIS は、██████。ジャカルタのNOTARIA 協会の会長である。

註 4: 電話権利代残高(長期に継続残)

(負債の部の註記事項)

註 5: 2019年度内の会費・教育支援金収入のうち、2020年度分の入金額

平成 31 年度（2019 年度）決算報告書

非営利活動に係る事業（一般会計）

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
至 令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

寄付控除認定 特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会

2019年度特定非営利活動に係る事業 一般会計収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
会費収入		
正会員入会金収入	3,000	
正会員会費収入	6,776,000	6,779,000
寄付金収入		
スリランカ教育支援金収入	10,191,000	
インドネシア教育支援金収入	3,369,000	
賛助支援金収入	360,000	
一般寄付金	425,000	14,345,000
運用財産利息収入(国内)	36	36
経常収入合計		21,124,036
II 経常支出の部		
事業管理費(別紙)	7,156,539	7,156,539
教育支援事業費		
スリランカ教育里親制度プログラム	9,500,000	
インドネシア教育里親制度プログラム	3,500,652	13,000,652
海外派遣費	1,884,506	1,884,506
国内派遣費	0	0
地域会活動費	4,588	4,588
総会関連費	297,638	297,638
報告広報費	227,408	227,408
IT広報費	214,896	214,896
経常支出合計		22,786,227
経常収支差額		-1,662,191
III その他資金収入の部		
インドネシア特別会計から繰入	6,016,338	
IV その他資金支出の部		
	0	6,016,338
当期収支差額		4,354,147
前期繰越収支差額		-2,604,832
次期繰越収支差額		1,749,315

別紙:事務管理費	(単位:円)
専務者給与	3,600,000
職員給与	1,776,000
雑給	185,430
法定福利費	262,023
福利厚生費	7,744
旅費交通費	72,740
交際費	55,972
郵便料	60,420
国内電話料	232,686
海外電話料	1,200
会議費	12,818
消耗品費	63,776
事務用品費	0
運搬費	5,770
水道光熱費	45,584
貸借料	563,310
図書研究費	18,284
支払手数料	26,590
諸会費	53,640
リース料	12,100
雑費	21,781
保険料	72,520
修繕費	6,151
租税公課	0
事業管理費 合計	7,156,539

2019年度 特定非営利活動に係る事業 一般会計正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額		
正味財産増加の部			
資産増加額			
当期収支差額(プラス)	4,354,147	4,354,147	
固定負債減少額		0	
増加額合計			4,354,147
II 正味財産減少額			
資産減少額			
当期収支差額(マイナス)	0	0	
固定負債増加額	0	0	
減少額合計			0
当期正味財産増減			4,354,147
前期繰越正味財産額			-2,479,848
当期正味財産合計額			1,874,299

2019年度 特定非営利活動に係る事業 一般会計貸借対照表

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
現金預金	7,889,352	前受金	14,028,000
前渡金	5,000,000		
短期貸付金	961,382		
預け金	1,926,581		
流動資産合計	15,777,315	流動負債合計	14,028,000
(固定資産)		(固定負債)	0
その他固定資産	124,984		
固定資産合計	124,984	固定負債合計	0
		負債合計	14,028,000
		III 正味財産の部	
		正味財産	1,874,299
資産合計	15,902,299	負債及び正味財産合計	15,902,299

2019年度 特定非営利活動に係る事業 一般会計財産目録

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
I 資産の部		
(流動資産)		
現金預金		
現金	121,939	
郵便振替センター	1,673,603	
みずほ銀行調布仙川店(普)	767,296	
みずほ銀行調布仙川店(寄付窓口)	32,777	
みずほ銀行調布仙川店(北野家賃)	251,870	
三菱東京UFJ銀行本店(普)	5,004,593	
三菱東京UFJ銀行本店(US\$)	5,475	
HNB Colombo(スリランカ円口座)	7,106	
BOTM Jakarta(インドネシア円口座)	24,693	7,889,352
前渡金	5,000,000	5,000,000
短期貸付金	961,382	961,382
預け金	1,926,581	1,926,581
流動資産合計		15,777,315
(固定資産)		
その他固定資産	124,984	
固定資産合計		124,984
資産合計	15,902,299	15,902,299
II 負債の部		
(流動負債)		
前受金	14,028,000	
流動負債合計		14,028,000
(固定負債)		
固定負債合計		0
負債合計		14,028,000
III 正味財産の部		
正味財産		1,874,299

平成 31 年度（2019 年度）決算報告書

非営利活動に係る事業（インドネシア特別会計）

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
至 令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

寄付控除 NPO 認定 特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会

2019年度特定非営利活動に係る事業 インドネシア特別会計収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
国際協力応援団寄付金収入		
国際協力応援団寄付(上記以外)	1,045,010	
運用財産利息収入(インドネシア)	151,549	1,196,559
経常収入合計		1,196,559
II 経常支出の部		
日本インドネシア市民友好フェス 2019の受入れ等経費負担	748,877	748,877
折紙教本1630冊をUINSMUH(マッカサル)寄贈:2020年3月7日	30,907	30,907
インドネシア現地補佐:2019年4月から2020年3月までの報酬: [REDACTED]	1,357,636	
インドネシア現地補佐:経費:[REDACTED] 2019年5月分から2020年5月分まで	1,420,062	2,777,698
滞在費:滞在宿舍の清掃等維持費(2019 5月分から2020年2月分まで)	206,589	
滞在宿舍撤収:2020年3月4-6日。 [REDACTED] の渡航費	238,360	444,949
携帯電話料	16,999	16,999
会合費:Mal Casablanca Sate Senayanにて [REDACTED]	60,053	60,053
交通費:TAXI Residens Puri Casablanc~CGK Rp.167, 015	14,232	14,232
口座TAX	11,804	
口座維持費 2019年5月~2020年2月支払手数料口座維持費合算	2,075	
支払い手数料	490	
送金手数料	1,197	15,566
経常支出合計		4,109,281
経常収支差額		-2,912,722
III その他資金収入の部	0	
IV その他資金支出の部		
一般会計への繰入れ	6,016,338	-6,016,338
当期収支差額		-8,929,060
前期繰越収支差額		52,214,920
次期繰越収支差額		43,285,860

日本インドネシア市民友好フェスティバル 2019 収支

支出

内 容	単 位	支出合計
【支出・(有)フジヤマコム運営委託】		
会場費(東京都) 5000㎡	2	420,000
代々木公園主会場・野外音楽堂	2	94,000
委託料(設営費・運営人件費・音響)	1	6,875,500
実行委・出演者・エコセンター食券		171,500
(ボランティア飲料 300本を含む)	1	18,000
小計		7,579,000
【主催者直接支出】		
来日チーム費用 (宿泊および食事)		656,900
エコステーションボランティア交通費		18,000
ポスター・謝礼・交通費ほか		27,777
【貸し出し機材支出】		
ドラムレンタル	1	30,000
ワイヤレスマイク	2	12,000
レンタル消費税		4,200
【C.P.I.事務管理部への繰り入れ】		
同 上		176,123
小計		925,000
支 出 合 計		8,504,000

収入

内 容	会社数	協賛寄付	収入合計
【収入・同運営委託】			
レストラン	9	330,000	2,970,000
ケータリングカー	4	220,000	880,000
物販出店UNIT	21	165,000	3,465,000
持込出店	3	88,000	264,000
小計			7,579,000
【主催者直接収入】			
クリダヌサンタラ基金会	1	875,000	875,000
ボランティア費用補填		20,000	20,000
【貸し出し機材収入】			
ドラムレンタル	1	30,000	30,000
小計			925,000
収 入 合 計			8,504,000

2019年度 特定非営利活動に係る事業 インドネシア特別会計正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
正味財産増加の部		
資産増加額		
当期収支差額(プラス)	0	0
固定負債減少額		
	0	0
増加額合計		0
II 正味財産減少額		
資産減少額		
当期収支差額(マイナス)	8,929,060	8,929,060
固定負債増加額	0	0
減少額合計		8,929,060
当期正味財産増減	0	-8,929,060
前期繰越正味財産額	52,214,920	52,214,920
当期正味財産合計額	43,285,860	43,285,860

2019年度 特定非営利活動に係る事業 インドネシア特別会計貸借対照表

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
現金預金	43,285,860		0
流動資産合計	43,285,860	流動負債合計	0
(固定資産)		(固定負債)	
固定資産合計	0	固定負債合計	0
	0		
		負債合計	0
		III 正味財産の部	
		正味財産	43,285,860
資産合計	43,285,860	負債及び正味財産合計	43,285,860

2019年度 特定非営利活動に係る事業 インドネシア特別会計財産目録

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
(流動資産)			
現金預金			
CIMB NIAGA(インドネシア Rp.口座)	19,438		
BRI Jakarta(インドネシア RP.当座)	2,091,147		
BRI Jakarta(インドネシア Rp.普通)	1,181,285		
インドネシア Rp 現金	1,142		
インドネシア 女性組合定期預金	39,992,848	43,285,860	
流動資産合計			43,285,860
(固定資産)	0	0	
固定資産合計			0
資産合計			43,285,860
II 負債の部			
(流動負債)			
流動負債合計			0
(固定負債)	0	0	
固定負債合計			0
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			43,285,860

平成31年度 年間役員および役員報酬を受けた者の名簿

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

認定特定非営利活動法人シーピーアイ教育文化交流推進委員会

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	コニシ キクミ 小西 菊文		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	ヨコハマ ヒデノリ 横濱 英紀		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	シハタ アサカ 柴田 朝香		31年7月1日～ 2年3月31日	なし
理事	ムタ シンイチロウ 牟田 慎一郎		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	ミヤハラ カツヘイ 宮原 克平		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	サノ ユウ 佐野 友		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	ウエダ キョウイチ 植田 恭一		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	カウ ヨシノブ 加藤 凱信		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
理事	タカシマ ケイコ 高嶋 恵子		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
監事	ハナワ ヨシツ 塙 善光		31年4月1日～ 2年3月31日	なし
監事	クボタ ヒデオ 久保田秀雄		31年4月1日～ 2年3月31日	なし

社員のうち10人以上の者の名簿

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人シーピーアイ教育文化交流推進委員会

氏名	住所又は居所
コエシ キクミ 小西 菊文	
ヨコハマ ヒデノリ 横濱 英紀	
シハタ アサカ 柴田 朝香	
ムタ シンイチロウ 牟田 慎一郎	
ミヤハラ カツヘイ 宮原 克平	
サノ ユウ 佐野 友	
ウエダ キョウイチ 植田 恭一	
カウ ヨシノブ 加藤 凱信	
タカシマ ケイコ 高嶋 恵子	
ハナワ ヨシミツ 塙 善光	
クボタ ヒデオ 久保田 秀雄	